

S1C17 マニュアル 正誤表

項目			
対象マニュアル	発行 No.	項目	ページ
S5U1C17000Y22 GangWriter ソフトウェアマニュアル (Rev.1.0)	411755801	4.2 作成するファイル	4
		5.1 ICDmini のディップスイッチ設定	6
		表 5.5.1 [Set Load Parameter]ウィンドウ入力項目の詳細	9,10
<p>(誤)</p> <p>4.2 作成するファイル 以下のファイルを準備する必要があります。 ・ ユーザプログラム・データ .saf ファイル</p>			
<p>5.1 ICDmini のディップスイッチ設定 DSIO 信号レベルがターゲットから入力した電圧の場合、SW4=OPEN、SW5=OPEN または ON。</p>			
<p>表 5.5.1 [Set Load Parameter]ウィンドウ入力項目の詳細</p>			
<p>FLASHメモリの消去/書き込みプログラム (FLS)</p>			
⑤Comment	<p>通常、コメントとしてFLSのファイル名を記載します。コメント内に-vを含む語句を挿入すると以下のオプションと判定されますので注意してください。</p> <p>Flashプログラミング用電圧供給が必要な場合 (テクニカルマニュアルで供給が記載されている機種のみ) は、コメント内に“-v”オプションを使用して電圧を設定します。</p> <p>-vEraseVoltage-WriteVoltage -v : オプション識別子 EraseVoltage : 消去電圧値 設定可能な電圧範囲は、$6.0V \leq \text{EraseVoltage} \leq 8.0V$です。 - : 接続子 WriteVoltage : 書き込み電圧値 設定可能な電圧範囲は、$6.0V \leq \text{WriteVoltage} \leq 8.0V$です。</p> <p>スペースを空け、続けてコメントを入力可能です。 例: Flashプログラミング用電圧供給が必要な場合で、消去電圧値を7.5V、書き込み電圧値を7.0Vに設定する場合 “-v7.5-7.0”を入力します。</p>		
ユーザプログラム・データ			
⑥File	<p>ユーザプログラム・データのファイル名を入力します。 開発環境でビルドしたsaf形式のファイル名を入力してください。</p>		

(正)

4.2 作成するファイル

以下のファイルを準備する必要があります。

- ・ユーザプログラム・データ **.psa** ファイル、もしくは **.saf** ファイル (**.psa** ファイルを推奨)

5.1 ICDmini のディップスイッチ設定DSIO 信号レベルがターゲットから入力した電圧の場合、**SW4=ON**、**SW5=OPEN** または **ON**。

表 5.5.1 [Set Load Parameter]ウィンドウ入力項目の詳細

FLASHメモリの消去/書き込みプログラム (FLS)		
⑤Comment	また、本コメント欄に以下のような記述を行うことにより、各オプション機能を指定することが可能です。	
	-v	
	機能	フラッシュ書き込み電圧制御オプション。 コメント内に“-v”オプションを指定することで、Flashプログラミング用電圧を設定することが可能です。
	書式	-vEraseVoltage-WriteVoltage EraseVoltage : 消去電圧値 WriteVoltage : 書き込み電圧値
	条件	EraseVoltage : 6.0V ≤EraseVoltage≤8.0V WriteVoltage : 6.0V ≤WriteVoltage≤8.0V 最大電流値は100mAです。
	例	“-v7.5-7.0” Flashプログラミング用電圧供給が必要な場合で、消去電圧値を7.5V、書き込み電圧値を7.0Vに設定する場合。
	-s	
	機能	通信パケットサイズ指定オプション。 コメント内に“-s”オプションを指定することで、ユーザプログラムを転送するための通信パケットサイズを設定することが可能です。
	書式	-sSendSize SendSize : 通信パケットサイズ値
	条件	SendSize : 1Byte ≤SendSize≤ 1010Byte (10進数)
例	“-s128” ユーザプログラムを転送するための通信パケットサイズが128バイトの場合。	
ユーザプログラム・データ		
⑥File	ユーザプログラム・データのファイル名を入力します。 開発環境でビルドした .psa 、もしくは .saf 形式のファイル名を入力してください。(.psa ファイルを推奨)	